

～夜空を見上げよう～

秋から冬にかけては、空気が澄んで星が綺麗に見える季節です。さあ、夜空を見上げてみましょう。

・**宙（そら）ノ名前 / 林完次**写真・文。— 光琳社出版, 1995

11号館一般 443/Ha

和名が「備前の箕（み）」と言う星座をご存知ですか？星座の名前や、写真のほかに、その天体を愛でた古人の言葉なども載せ、味わい深い1冊となっています。星の名前にはロマンを感じます。

・**東京星空散歩 / 林完次**著。— 中央公論新社, 2007

11号館一般 440.37/Ha

東京は星も見えないって言うけれど、東京にだって星はある。東京で見られる星の写真集。

・**星空と宇宙の楽しみ方 / 藤井旭**著。— 河出書房新社, 2000

11号館一般 442/Fu

天体写真家として、NASA のホームページにも写真が載っている藤井氏が、これから望遠鏡を覗こうと言う方向けに、望遠鏡の選び方から、星座、月・太陽の見方などを分かりやすく説明しています。入門書としては、最適です。

～ハッブル望遠鏡で天体を見よう～

大気のない宇宙にあるハッブル宇宙望遠鏡、ここから見た星々の姿は鮮明ですごい！

・**銀河：宇宙に浮かぶ不思議な天体：ハッブル宇宙望遠鏡がとらえた驚きの宇宙 / 沼澤茂美, 脇屋奈々代**共著。— 誠文堂新光社, 2008 10号館大型本 443.6/Nu

最近の天文学を語る上で欠かせないものの1つに、「ダークマター」の解析があります。目には見えない物質ですが、重力レンズ効果を使って、その分布を可視化した写真が載っています。

・**ハッブル宇宙望遠鏡でたどる果てしない宇宙の旅 / 伊中明**著。

技術評論社, 2006. — (@Science . 3D立体写真館 ; 3) 11号館一般 440.37/In

ハッブル望遠鏡の写真を立体写真に直してみました。3D 用メガネで宇宙の奥行きを感じてみましょう。

そのほかにも、様々な天体に関する図書が、岡山理科大学図書館にはあります。11号館だけでなく、10号館大型本にもありますので、ぜひ、ご覧ください。
